

を語れるガイドと地域限定通訳案内士の育成等のソフト面、大型バスが通行できる道路環境の整備、公衆トイレの洋式化や看板の多言語化等のハード面での受入態勢を整備します。

さらに、世界に誇る絹と金のみち広域周遊ルートの形成に向け、群馬県、埼玉県、長野県、新潟県とが連携し、外国人観光客の受入体制整備や海外での誘客活動等に取り組み、佐渡金銀山の世界的な価値の普及啓発や情報発信を行います。

佐渡空港の2千メートル化については、県と連携して地権者同意の取得を目指すとともに、佐渡新潟間の航空路の早期再開を目指します。

また、佐渡航路乗用車航送運賃割

引事業の拡充やライナーバス、循環バス等による二次交通の利便性向上を図ります。

(4) 産業間連携による観光産業の構築

観光産業は、複数の産業が連携することで、大きな経済効果や多くの雇用を生み出すことから、新たに設置する佐渡版DMOの検討組織や創業支援ネットワークが連携し、国が進めているREASASを活用した地域経済構造の分析を行い、市内の産業や地域経済を振興するための具体策を導き出すとともに、農工商連携や6次産業化等の取組を掘り起こし、元氣な観光産業を創出します。

【若者の出会いから就業までの応援態勢の促進】

本市の独自施策として平成26年度から実施している在園2人目の保育料無料化においては、県内20市で1位の減免率であり、平均月額保育料も1番低くなっています。

このように、県内でも子育てしやすい環境である本市の施策を、UITAイン等の移住者を含めた若い世代に知ってもらうことや、施策を一体化し、安心して結婚・出産・子育てができる環境づくりに取り組むことが必要です。

(1) 一貫性のある環境づくり

これまで個々に行ってきた結婚、妊娠・出産、子育て、教育、就職などの施策を、佐渡島での婚活・子育て応援プロジェクトとして一貫性を持って取り組みます。

出会いから結婚までの取組については、若者等が参加しやすいイベントの開催に加え、地域における婚活事業への支援や婚活サポーターによる相談・フォローを継続して、多くの若者が家族の絆を築き幸せに生活

してもらえる施策を実施します。

また、妊娠や出産期における不安を解消するための相談や事前準備のためのセミナーを開催するとともに、不妊治療、妊婦健診に要する費用の助成等を実施し、健やかな妊娠・出産を迎えていただくための取組を進めます。

子育てについては、幼稚園授業料と保育料の2人目の無料化を行うとともに、子どもの医療費助成の対象を高校生まで拡充することに加え、保育園での土曜日午後保育の実施や病後児保育室の開設、放課後児童クラブの開設時間拡充等により、働きやすい環境づくりに取り組みます。

さらに、ファミリーサポート事業の充実や佐渡オリジナルの「ソフリエ資格認定講座」を実施するとともに、子育ての悩み解消に関する取組や子ども若者相談センターの相談体制の充実に加え、核家族が進む近年における既存の住宅リフォームの支援の実施により、世代を越えて地域全体で子育てを応援します。

(2) 特色ある教育と地域支援

児童生徒が郷土への愛着を持ち、社会人として自立して生きていくためには、地域の人々と関わりを深め、地域の特色を活かしたキャリア教育等の推進により、未来を担う人材を育成することが必要です。

そのため、

平成27年11月に教育委員会と連携して策定した佐渡市教育大綱に掲げる基本目標を実現するため、本年は教育振興基本計画の策定に取り組み、施策全ての土台となる人づくりを推進します。

また、文部科学省や新潟県教育委員会と連携した地域課題解決型教育プログラムの実施や佐渡の特色を活かした高等学校の設置に向けて取り組むとともに、郷土愛を育みながら職場体験・校外学習を通して職業観を醸成し、心身ともに成長して佐渡を支える人材の育成に取り組みます。

(3) 移住者受入態勢の整備

昨年、著名な全国誌で移住しやすさ3つ星の自治体としても選ばれるなど、佐渡が移住の候補地として選んでもらえるチャンスの時期と捉えています。

そのため、移住を希望する若者世代等の視点に立ち、体験する、住む、働く、暮らすための定住施策の展開を図り、移住コンシェルジュによる相談・受入態勢を充実し、首都

